

## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月7日  
上場取引所 東

上場会社名 東洋インキSCホールディングス株式会社  
 コード番号 4634 URL <https://sched.toyoinkgroup.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 悟  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員・グループ財務部長 (氏名) 有村 健志 (TEL) 03(3272)6002  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 2023年9月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績 (2023年1月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	153,676	△0.7	4,752	3.0	5,365	△20.2	3,842	△54.3
2022年12月期第2四半期	154,758	11.1	4,615	△36.2	6,728	△22.3	8,410	33.1

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 20,128百万円(4.5%) 2022年12月期第2四半期 19,266百万円(49.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	72.50	72.45
2022年12月期第2四半期	151.60	151.41

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	426,072	245,378	55.5
2022年12月期	411,177	227,877	53.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 236,392百万円 2022年12月期 219,047百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2023年12月期	—	45.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	330,000	4.5	11,000	60.2	9,500	20.1	6,000	△35.5	113.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 2 Q	58,286,544株	2022年12月期	58,286,544株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	5,267,814株	2022年12月期	5,298,507株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 2 Q	53,000,712株	2022年12月期 2 Q	55,474,737株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 決算補足説明資料は2023年8月7日(月)に当社ホームページに掲載いたします。

3. 当社は以下のとおり投資家向けの説明会を開催いたします。この説明会で使用する決算説明会資料につきましては、決算説明会開催前に当社ホームページにて掲載する予定です。

- ・ 2023年8月22日(火) 機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって緩やかに回復している一方、物価上昇による消費者の買い控えや、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー価格の高止まりもあり、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境のなかで当企業グループは、年度方針である「事業の収益力の強化」、「重点開発領域の創出と拡大」、「持続的成長に向けた経営資源の価値向上」の実現に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,536億76百万円（前年同期比0.7%減）と減収になりましたが、営業利益は47億52百万円（前年同期比3.0%増）の増益となりました。また、為替差益の減少、投資有価証券売却益の減少により、経常利益は53億65百万円（前年同期比20.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は38億42百万円（前年同期比54.3%減）と、それぞれ減益になりました。

セグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりです。

## ① 色材・機能材関連事業

液晶ディスプレイカラーフィルター用材料は、中国での拡販や台湾でのシェア向上に加え、液晶パネルメーカーでの生産が後半は回復に向かい、出荷も増加傾向となりました。

プラスチック用着色剤は、国内では消費者の買い控えや住宅着工件数の減少などで容器用や建材フィルム用が低調に推移しましたが、海外で太陽電池用が好調でした。

インクジェットインキは、海外市場での在庫調整の影響がありましたが、後半は回復に向かいました。車載用リチウムイオン電池材料は、米国や欧州での供給を本格化させ販売を伸ばしており、米国と中国では今後の需要増に備えた設備増強を進めております。

これらの結果、当事業全体の売上高は393億64百万円（前年同期比0.0%減）と僅かに減収、営業利益は14億65百万円（前年同期比2.4%減）と減益になりました。

## ② ポリマー・塗加工関連事業

塗工材料は、スマートフォンや液晶パネル市況の調整が続き、電磁波シールドフィルムや耐熱微粘着フィルムが低調に推移しました。

粘着剤は、国内ではラベル用やディスプレイ用が低調でしたが、米国やインドでは設備増強により販売が拡大しました。接着剤は、国内では包装用が堅調に推移しましたが、海外では消費の冷え込みで食品包装用などが伸び悩みました。

缶用塗料は、国内では顧客での稼働が伸び悩み低調に推移し、海外でも漁獲量の低迷などで食缶用が低調でしたが、タイでは現地塗料メーカーを買収し事業拡大に向けて拠点を拡充しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は363億49百万円（前年同期比4.7%減）と減収になりましたが、販売価格の改定効果もあり、営業利益は19億17百万円（前年同期比28.1%増）と増益になりました。

## ③ パッケージ関連事業

リキッドインキは、国内では、物価上昇による消費者の買い控えが生活必需品にも及び食品用の包装材需要は伸び悩みましたが、行動制限の解除もあり季節商材や土産物用は堅調に推移しました。段ボール用も、消費者の節約志向で飲料や加工食品関連向けが低調でした。

海外では、インドでは需要が底堅く、販売も堅調に推移しましたが、中国では消費の低迷で食品包装用が低調でした。他方、国内外で原料価格高騰に対する販売価格の改定が進展し、利益改善が進みました。

グラビアのシリンダー製版事業は、包装用は新版需要もあり堅調でしたが、エレクトロニクス関連の精密製版は低調に推移しました。

これらの結果、当事業全体の売上高は403億61百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は14億18百万円（前年同期比201.2%増）と、増収増益になりました。

④ 印刷・情報関連事業

国内では、情報系印刷市場の構造的な縮小が継続し、チラシや広告、出版向けが低調でしたが、紙器パッケージ向けは旅行関連の需要による持ち直しもあり堅調でした。なお、エネルギーや原材料のコストが高止まりするなか、同業他社との協業や事業の構造改革によるコストダウンを継続して進める一方、自助努力で吸収不可能な範囲は販売価格の改定も進めさせていただいております。

海外では、中国での不動産市況の悪化や輸出低迷による景気の弱含みもあり販売が低調に推移しましたが、紙器パッケージ向けに機能性を付与したコーティング剤は拡販が進みました。

これらの結果、当事業全体の売上高は363億44百万円（前年同期比0.0%増）と僅かに増収になりましたが、エネルギーコストや原材料価格の高止まりもあり、41百万円の営業損失（前年同期は5億88百万円の営業利益）となりました。

⑤ その他

上記のセグメントに含まれない事業や、東洋インキSCホールディングスなどによる役務提供などを対象にしています。当第2四半期連結累計期間においては、原料販売の増加などにより、売上高は28億34百万円（前年同期比13.6%増）と増収になりましたが、役務提供収益の減少などにより、営業利益は12百万円（前年同期比97.7%減）と減益になりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,260億72百万円で、前連結会計年度末より148億94百万円増加しました。負債は1,806億93百万円で、前連結会計年度末より26億6百万円減少しました。純資産は2,453億78百万円で、前連結会計年度末より175億1百万円増加しました。

当第2四半期連結会計期間末日の為替レートが前連結会計年度末日の為替レートに比べ、円安外貨高に振れたため、海外子会社で保有する資産、負債及び為替換算調整勘定が増加しました。また、海外での新工場建設に伴い有形固定資産が増加しました。さらに、日本国内の株価上昇を反映し、投資有価証券、繰延税金負債、その他有価証券評価差額金がそれぞれ増加しました。一方、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であった影響により、現金及び預金、売掛金、買掛金は減少しました。なお、一部の長期借入金の返済期限が1年以内になりましたため、短期借入金への振替を行っています。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の四半期末残高は、期首残高より57億43百万円減少し、476億42百万円となりました。

営業活動により得られた資金は56億31百万円（前年同期は2億62百万円の支出）となりました。税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少による資金の増加や、仕入債務の減少、法人税等の支払いによる資金の減少などがありました。

投資活動により使用した資金は93億67百万円（前年同期は15億12百万円の収入）となりました。有形固定資産の取得による支出などがありました。

財務活動により使用した資金は35億6百万円（前年同期比26億48百万円減）となりました。長期借入れによる収入に伴う資金の増加や、短期借入金の純減、配当金の支払いによる資金の減少などがありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期業績予想につきましては、2023年2月14日に発表した予想数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	55,117	49,213
受取手形及び売掛金	100,390	99,945
有価証券	430	1
商品及び製品	38,494	39,271
仕掛品	1,000	1,164
原材料及び貯蔵品	28,088	27,536
その他	6,881	6,056
貸倒引当金	△1,154	△1,258
流動資産合計	229,247	221,930
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	113,121	116,921
減価償却累計額	△70,863	△73,318
建物及び構築物(純額)	42,258	43,603
機械装置及び運搬具	165,907	173,937
減価償却累計額	△138,746	△143,623
機械装置及び運搬具(純額)	27,160	30,313
工具、器具及び備品	28,442	28,796
減価償却累計額	△23,092	△23,350
工具、器具及び備品(純額)	5,349	5,446
土地	30,490	30,696
リース資産	6,978	7,797
減価償却累計額	△1,944	△2,277
リース資産(純額)	5,033	5,519
建設仮勘定	12,075	14,501
有形固定資産合計	122,366	130,081
無形固定資産	2,619	4,730
投資その他の資産		
投資有価証券	42,791	55,455
退職給付に係る資産	7,645	7,712
繰延税金資産	2,826	2,990
その他	3,881	3,363
貸倒引当金	△200	△190
投資その他の資産合計	56,944	69,330
固定資産合計	181,930	204,141
資産合計	411,177	426,072

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	70,738	60,152
短期借入金	24,022	38,976
未払法人税等	726	1,890
その他	17,975	19,793
流動負債合計	113,463	120,813
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	54,851	40,520
繰延税金負債	6,276	9,939
環境対策引当金	251	251
退職給付に係る負債	1,676	1,881
資産除去債務	33	33
その他	1,746	2,253
固定負債合計	69,836	59,880
負債合計	183,300	180,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,733	31,733
資本剰余金	32,530	32,467
利益剰余金	151,414	152,873
自己株式	△10,687	△10,625
株主資本合計	204,990	206,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,007	14,345
為替換算調整勘定	7,986	14,713
退職給付に係る調整累計額	1,062	884
その他の包括利益累計額合計	14,056	29,943
新株予約権	98	59
非支配株主持分	8,731	8,926
純資産合計	227,877	245,378
負債純資産合計	411,177	426,072

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	154,758	153,676
売上原価	126,887	124,765
売上総利益	27,870	28,910
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	3,811	3,568
給料及び手当	6,025	6,288
賞与	1,367	1,240
福利厚生費	1,538	1,507
減価償却費	907	911
研究開発費	1,716	1,779
その他	7,888	8,861
販売費及び一般管理費合計	23,254	24,157
営業利益	4,615	4,752
営業外収益		
受取利息	105	143
受取配当金	954	717
為替差益	2,102	942
その他	482	240
営業外収益合計	3,646	2,044
営業外費用		
支払利息	440	869
持分法による投資損失	111	53
正味貨幣持高に係る損失	600	158
その他	381	349
営業外費用合計	1,533	1,431
経常利益	6,728	5,365
特別利益		
固定資産売却益	14	118
投資有価証券売却益	5,424	879
特別利益合計	5,438	998
特別損失		
固定資産除売却損	167	107
投資有価証券売却損	-	297
事業構造改善費用	-	399
その他	32	191
特別損失合計	199	995
税金等調整前四半期純利益	11,967	5,368
法人税、住民税及び事業税	4,278	2,127
法人税等調整額	△749	△569
法人税等合計	3,529	1,557
四半期純利益	8,437	3,811
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	27	△31
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,410	3,842



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	8,437	3,811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,665	9,338
為替換算調整勘定	14,417	6,631
退職給付に係る調整額	△227	△178
持分法適用会社に対する持分相当額	303	525
その他の包括利益合計	10,828	16,317
四半期包括利益	19,266	20,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,148	19,730
非支配株主に係る四半期包括利益	1,117	398

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,967	5,368
減価償却費	5,166	5,428
正味貨幣持高に係る損失	600	158
事業構造改善費用	-	399
受取利息及び受取配当金	△1,060	△861
支払利息	440	869
持分法による投資損益 (△は益)	111	53
有形固定資産売却損益 (△は益)	△8	△111
有形固定資産除却損	30	14
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5,424	△582
売上債権の増減額 (△は増加)	1,692	3,476
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,892	2,435
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,853	△11,614
その他	△496	1,337
小計	1,273	6,373
利息及び配当金の受取額	1,180	884
利息の支払額	△417	△805
法人税等の支払額	△2,298	△820
営業活動によるキャッシュ・フロー	△262	5,631
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	554	228
有形固定資産の取得による支出	△7,890	△9,328
有形固定資産の売却による収入	18	555
無形固定資産の取得による支出	△66	△512
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△15	△324
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	9,026	2,564
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△2,533
その他	△115	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,512	△9,367
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,142	△1,729
長期借入れによる収入	149	1,339
長期借入金の返済による支出	△161	△355
リース債務の返済による支出	△150	△209
自己株式の取得による支出	△4,629	△1
配当金の支払額	△2,512	△2,384
その他	7	△165
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,155	△3,506
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,758	1,499
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,147	△5,743
現金及び現金同等物の期首残高	60,949	53,385
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,802	47,642

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	色材・ 機能材 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	パッケージ 関連事業	印刷・情報 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	38,776	37,963	39,496	36,331	152,567	2,190	154,758	—	154,758
セグメント間の内部 売上高又は振替高	597	181	491	1	1,272	304	1,576	△1,576	—
計	39,373	38,144	39,988	36,332	153,839	2,495	156,335	△1,576	154,758
セグメント利益	1,501	1,497	470	588	4,057	561	4,619	△3	4,615

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない原料販売等の事業セグメントや、当社が親会社として行うその他の収益を稼得する事業活動であり、役務提供等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	色材・ 機能材 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	パッケージ 関連事業	印刷・情報 関連事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	38,761	36,274	40,019	36,331	151,388	2,287	153,676	—	153,676
セグメント間の内部 売上高又は振替高	602	75	342	13	1,032	546	1,579	△1,579	—
計	39,364	36,349	40,361	36,344	152,420	2,834	155,255	△1,579	153,676
セグメント利益又は 損失(△)	1,465	1,917	1,418	△41	4,758	12	4,771	△18	4,752

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない原料販売等の事業セグメントや、当社が親会社として行うその他の収益を稼得する事業活動であり、役務提供等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△18百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	調整額	合計
	色材・ 機能材 関連事業	ポリマー・ 塗加工 関連事業	パッケージ 関連事業	印刷・情報 関連事業	計			
減損損失	305	—	—	—	305	—	—	305

(注) 「色材・機能材関連事業」に係る減損損失305百万円は四半期連結損益計算書上、「事業構造改善費用」に含まれております。